

# 福岡県移住者子弟留学生 第1回報告書（6月）

## テーマ

「自分の出身国の事。

福岡に来てから今日までのこと。」

## ブラジル福岡県人会 福山 真伊

九州大学大学院工学府

私の母国のブラジルは南アメリカの一番大きな国で、住んでいるサンパウロ都市は国の中で最も人口が多いといわれています。サンパウロには、イビラプエラ公園、サッカーミュージアムなど有名スポットがたくさんあり、肉料理のシュラスコ、豆料理のフェイジョアーダなど美味しい現地の食べ物もあります。移民した人が多く、カーニバルという大きなお祭りなどで陽気な人が多い、賑やかな国ともいわれています。

サンパウロでは Moema 区で父と二人暮らしをしています。私の父は福岡県博多区住吉出身で、母は千葉県出身です。

Sao Caetano do Sul 区にある Instituto Maua de Tecnologia の化学工学部を卒業しました。

大学での卒業論文が排水処理の研究だった事もあり、前から興味があった環境について日本の大学で学びたいと思い、九州大学の伊都キャンパスでは地球環境工学科で勉強させていただいています。キャンパスは新しく、大きく、綺麗で、初めて行ったときは、感動しました。今の研究は福岡ではどのような環境問題があるのか、どのような排水処理を行われているのか、ブラジルと比較して教授と話し合っています。

日本の発達している技術の勉強、家族が生まれ育った日本の文化を学び、ふれあい、自分の将来のためにも福岡県移住者子弟留学生になりたいと希望しました。そして夢が叶い、現在留學生活が2か月過ぎました。

家族会、国際交流センター、県人会の皆様のサポートのおかげでとても充実した毎日をおくれています。例えば、皆さんに教えてもらいながらタケノコ狩りに初挑戦し、バーベキューと一緒に採れたてのタケノコをいただきました。野球の試合では、応援ユニフォームをいただき、観客と一緒に応援し、ホームランを何本か見ました。花火大会用に浴衣を選ばさせていただき、大会まで一人で着付けができるように稽古を頑張りたいと思います。田植えは天気にも恵まれ、土の中に入り、その後川に入ったりと、久しぶりに自然と触れ合い、蛍鑑賞では小学校の生徒たちと一緒に何匹も夜に光るのが見られました。ほかにもサッカー観戦、すいか割りなど初めて経験するものばかりで、留學生活をとても満喫しています。福岡県副知事にもお会いできてとても光栄ですし、福岡に着いてすぐ桜を見られた事にも感動しました。

他の国の県費留學生も優しい方ばかりで、仲良く毎日晚御飯を一緒に作り、食べ

ています。一緒にマリンワールド水族館、夜景が見える福岡タワー、綺麗な紫色の藤の花でできたトンネルがあった藤園、小倉城などへ行きました。

福岡のもう一つの魅力は美味しい料理です。とんこつラーメン、お寿司、明太子などブラジルでは味わえない日本料理を食べられてとても幸せです。

そして、日本人の礼儀の良さ、電車とバスでの時刻通りの発車と到着、環境問題解決のための色々な策、さすが日本、と思う事もたくさんあります。

最後に、今年1年の目標は勉強を一番に考え、大学に1年間通い、国際交流センターや家族会の人たちと一緒に行事に参加し、大学がない日には福岡や日本を旅行して、日本の文化を知り、学び、この留学が実現できた事とお世話になっている人たちに感謝したいと思っています。そして、母国のブラジルに帰国しても、福岡県人会の活動を続けたいと思っています。

ブラジル福岡県人会  
太田 砥綿 マリアナ 絵理

九州大学大学院芸術工学府

私はブラジルでサンパウロ州サンパウロ市に住んでいます。家族は私、父、母と妹、四人で一緒に住んでいました。母国では2015年マッケンジー大学で建築学院を卒業して、父の友達と働いていました。仕事で設計と3Dモデルをやっていました。

この留学に来た理由は、大学の時には『Instituto do Coração』という病院建築学科で研修して、そこで高齢者が持っている問題に直面して、老人の住まいに興味を持つようになりました。それに、ブラジルの老人の人口が急増しているので、日本は高齢者の問題について何年も対処しているからです。それと、建築についてより多くの知識も習いたいです。

さらに、祖父は82年前福岡からブラジルに移住したので、そのルーツを知り、と祖先についての詳細を学びたい、日本の文化ももっと知りたいです。

日本へ来て初めて一人暮らしになりました、来る前に少し心配だったけど他の留学生は優しいので良かったです。毎日皆晩御飯を一緒に食べて、家族みたいになっています。

ここでは、九州大学芸術工学部大橋キャンパスで勉強させてもらっています。高齢者の住まいの研究をしています。大学で、全部の授業は日本語なので、時々技術用語が分からないので日本人の友達に手伝いを頼みます。研究室で毎週ゼミがあるから私の研究の事だけじゃなくて他の研究のことも学んでいます。

日本について、大濠公園と舞鶴公園で桜の美しさを見ました。初めてサッカーの試合に行きました。レベル5でアビスパ福岡対町田ゼルビアを見ました。海の中道公園とマリンワールドにも行きました。それといろいろな美味しい食べ物もたべました。例えば豚骨ラーメン、回転寿司、天ぷら、刺身、明太子と博多通りもん。

5月にはゴールデンウィークがあったので色々な所に行きました。初めにどんたく祭りに参加するつもりだったけど雨のため中止になりました。パレードに参加することが出来なかったので、ももち浜にピクニックに行きました。そこで綺麗な夕焼けを見ました。この祝日には友達が熊本から福岡に来たので色々な場所へ遊びに行きました。例えば、アイランドシティの植物園、福岡タワー、福岡水上と北九州。北九州の河内藤園で美しい藤を見ましたし、小倉神社、小倉城、TOTOミュージアムと門司港にも行きました。ゴールデンウィークで竹の子狩りもしました。竹の子の収穫はちょっと難しかったけど、凄く楽しんだ。

中旬には、初めて野球の試合を見に行きました。ヤフオクドームで福岡ソフトバンク対オリックスを見ました。福岡ソフトバンクが勝って花火も見られました。

久留米の家族会総会では、温泉に入ったり、ホームステイをしたりしました。ホームステイの時には大分県の九重夢吊橋に連れて行ってもらいました。景色が凄く綺麗でした。

私は、教授とオーストラリアの先生と一緒に桜十字病院に行き、その病院で研究の事を見て、色々な知識を習い、凄く良かったです。

月末に私は劇場に行き、アクロス福岡-福岡シンフォニーで薪能を見ました。この留学で色々な経験が出来て本当に楽しいです。

ブラジル福岡県人会  
矢野 マルシア 百合江

## 九州大学大学院人間環境学府

初めまして 2017 年県費留学生の矢野マルシア百合江(やのゆりえ)と申します。ブラジル、サンパウロ市から来ました。日系 4 世で、今年 25 歳になります。日本に来てあっという間に 2 ヶ月が過ぎました。家族とはなれる時、少し悲しかったけど、それからいっぱい楽しいことがありましたので、とても嬉しいです。初めて家族とこんなに離れた経験はいいこともありますし、日本語を勉強したらもっと日本の生活が面白くなると思います。この一年日本で過ごした後、ブラジルに帰って、経験したいいいことをみんなに伝えたいです。

ブラジルでは 2016 年 06 月に Mackenzie 大学で建築学科を卒業し、それから友達からたのまれた建築の仕事を少ししていました。日本では九州大学、はこぎきキャンパスで大学院人間環境学府・工学部建築学科の教授にお世話になっています。日本でこの一年間する研究のテーマを決めるために大学キャンパスと都市再生に関する論文を集めています。はこぎきキャンパスは伊都キャンパスに少しずつ移転してしまいますけど、研究室と授業は来年まではこぎきにあると聞きました。伊都キャンパスでは週に一回授業があります。初めて行った時は迷って困りましたが、教室まで案内してくれた、ゆきさんと友達になりました。ゆきさんからバレーボールのゲームにさそわれて行きました。みんな楽しくて頑張って投げましたから私も楽しかったし、みんなすごいと思いました。ブラジルでは友達とそんなに真剣にスポーツしなかったから驚きました。

6 月から日本語の授業が大学で始まりました。授業には韓国、中国、ペルーの人がいて賑やかです。いつも新しい語彙を覚えて、日本語の勉強にすごくいいと思います。まだまだですが、少しずつ建築の単語も分かってきています。クラブの先輩たちも親切な人たちです。

福岡県に来た時に桜が咲いていました。その景色を見てとても嬉しかったです。アクロスの建物もとってもきれいで、サンパウロ市では似た建物はないので珍しいと思います。また、自転車を使う人もサンパウロより多いです。私も大学まで毎日自転車で行くことができ嬉しいです。日本に来てから県費留学生たちと一緒に歩いて、晩ごはんも一緒に食べていつも楽しいです。みんなとマリノワールド水族館、カラオケ、天神、河内藤園、博多など行きました。そして、いろんな経験もしました。例えば、アビスパのサッカーゲーム、野球の試合、たうえ、ほたるを見ること、竹の子掘り、バーベキュー、ホームステイ、キリンビールの

工場に行って、浴衣ももらえてとても楽しかったです。そして、天神新能を初めて見てすごかったです。

福岡県移住者子弟留学生になりたかった理由はたくさんあります、その中で、日本語を学ぶことや、家族のルーツを知ること、日本で生活し、文化を経験して、友達をつくること、建築の研究をしたいと思います。思ったよりみんなにお世話になっていますので、心から感謝しています。ブラジルに帰ったら福岡県人会にも協力し、ブラジルと日本のいい関係が続くように少しでもできたら協力したいと思います。

## 在ボリビア福岡県人会 徳永 アレハンドロ 勇一

### 福岡調理師専門学校

私は、南アメリカの共和制国家であるボリビア多民族国から来ました。面積 1 098 581 km<sup>2</sup> で日本のほぼ 3 倍の広さです。ですが、日本の 10 分の 1 の人口しかありません。北と東をブラジル、南をアルゼンチン、南東をパラグアイ、南西をチリ、北西をペルーに囲まれています。ボリビアの首都はラパスであり、世界最高高度にある首都とも言われております。標高 3 0 0 0 m から一番高いところで 4 1 0 0 m であり、富士山とだいたい同じ高さです。ボリビアには、9 つの県が設けられています。オルロ県（オルロ）、コチャバンバ県（コチャバンバ）、サンタ・クルス県（サンタ・クルス・デ・ラ・シエラ）、タリハ県（タリハ）、チュキサカ県（スクレ）、パンド県（コビハ）、ベニ県（トリニダ）、ポトシ県（ポトシ）、ラパス県（ラパス）です。

私たちの先祖は、第二次世界大戦が始まると、29 人の日系ボリビア人のみがアメリカ合衆国に送還されました（日系人の強制収容）。しかし、それ以上に地方政府が反日法を制定しなかったため、戦争は日系ボリビア人の居住者に影響を与えませんでした。戦後、政府は日本人難民を暖かく迎え入れました。1954 年以降の諸協定は日系ボリビア人の歴史の新しいページを開き、と充実した農業移民の流入を、アメリカ合衆国統治下の沖縄や日本本土から受け入れました。戦争で荒廃した日本からの過剰人口の再移住の必要性は、ボリビア政府のサンタクルス県の東部低地開発と合致しました。日本政府からの金融援助を得てコロニア・オキナワとサン・フアン・デ・ヤパカニが建設されました。二つの移住地は異なったコミュニティとして、一つは沖縄県の、他方は本土のアイデンティティを持ち、現在もまたボリビア生まれの世代から変遷を経ています。今では、約 1 万 4000 人の日系人の他、日本国籍の日本人 2,719 人が住んでいます。

日本に来てとても不安でしたが県費留学生の皆さん、福岡県国際交流センターの皆様、家族会の皆様、学校の方々がとても優しい方なのでとても充実した毎日を送ることができています。学校初日は、岡松さんが付き添ってくれてとてもよかったです。初めは緊張していましたが先生がいろいろ気にかけてくれて安心して授業に集中できました。それに同級生とも友達になることができ毎日を楽しく過ごしています。2ヶ月があっという間に過ぎてしまいました。今月も家族会や県人会の皆様いろんな場所につれていってもらったり、イベントに参加



させていただきました。

ゴールデンウィークでは、どんたくというパレードに参加させていただきましたがあいにくの雨で中止となりましたのでとても残念でした。その次の日には、家族会の関さんの家で筍狩りをさせていただきバーベキューも食べさせてもらいました。とても楽しかったです。

家族会のセフィニョさんにソフトバンクの試合を見に行かせてもらいました。最後にスタジアムの中で花火が打ち上がった時はビックリしましたがとても楽しかったです。

今月は県費留学生のみんなと北九州に遊びに行きました。小倉城に登ったり、門司港の海を見に行ったりしました。夜には明かりがとても綺麗でした。

家族会の方々に旅館につれていってもらいました。そこで日本食を食べました。美味しかったです。最後には温泉にも入らせていただきました。とても楽しかったです。

家族会の山崎さん家にホームステイさせていただきました。その際、山崎さんのお孫さんにも会いました。可愛かったです。

今月は福岡県の副知事にもお会いしました。緊張してしまいましたがとても優しい方でした。

家族会の方々、本当にありがとうございます。専門学校の方でも毎日が楽しいです。友達も少しずつですができてきました。先生方にもいつも手伝ってもらっています。

この一年間、第一の目標は学校を卒業し調理師免許を獲得したいです。その他にも福岡のいろんな所へ行ったり、自分のおばあちゃんの住んでいた所へ行ったり、叔父さん達にもあってみようと思っています。

## ペルー福岡クラブ

竹下 ケニー

### 九州産業大学芸術学部

私はペルー・リマからきました。家族は父（ENRIQUE）、母（BEATRIZ）と妹（KRISTY）です。妹は28歳で今インテリアデザインの勉強をしています。父の両親はペルーで生まれました。でも、祖父母の両親は福岡の出身です。母の祖父母も福岡出身で、祖母は日本生まれです。祖父はペルーで生まれて福岡で勉強しに来て、第二次世界大戦まで福岡で住んでいました。

ペルーで、いつも AELU という日系スポーツクラブに行って、テニスとソフトボールをしています。父、母と妹も、ときどき AELU に行きます。そこでは毎年祭りとか、運動会とか、雛祭りや子供の日もいわれます。去年の祭で私の友達のバンドといっしょにいくつかの音楽の演奏をしました。

私はペルーで PONTIFICIA UNIVERSIDAD CATOLICA DEL PERU で建築の勉強をしました。

そつぎょうご、5年間ぐらい建設会社で建設スーパーバイザーの仕事をしました。あとインテリアのデザインとインテリアデザインのスーパービジョンもしました。

私が初めて日本に来たのは1996年でした。11歳で、ペルーの野球チームと日本に来て、世界チャンピオンシップに参加をしました。そのあと、2001年に、JICAの研修で一ヶ月日本に来ました。その時は横浜の学校へ行きましたので、初めて行った時と違う経験でした。日本人やブラジル、アルゼンチン、パラグアイとボリビアの同じ年の青年たちと一ヶ月生活し、とても楽しかったです。

この時期初めて福岡に来ましたので、大きな街並みや発展しているところに驚かされ、また文化や伝統を大事にしているのが印象に残りました。そして町だけでなく自然も大事にされていて、とても穏やかな場所でとても好きです。このたび、一年間、写真の勉強をするチャンスだと思います。

この一年間九州産業大学で写真の勉強をしています。建築以外に写真は私の長年のしゅみでした。初めて大学に行った日、すごく大きく、きれいな大学だったのでとてもかんどうしました。写真の勉強いがいに、日本語の勉強をするチャン

スだと思い、がんばっています。すでに二ヶ月になりまして大学はすごく楽しいです。いろんな授業でいっぱい写真をとって、あとモノクロの印刷を習いました。今 PHOTOSHOP で PHOTO EDIT を習っています。そして、スタジオでポートレートとライティングを習っています。

今年の留学生メンバー、(ブラジル、カナダ、ハワイ、ボリビア、メキシコ)に会うチャンスがあったのですごく嬉しいです。皆とても仲が良いです。いつも一緒にスーパーで買い物をし、いろんなりょうりを作って、みんなでごはんを食べています。私の誕生日のおいわいもしてもらいました。

今年、さくらが咲くのがおそかったおかげで、日本についてすぐ、皆で花見に行きました。私は昔から花見に行きたかったので嬉しかったです。みんなと一緒に大濠公園へ行きました。そこでいっぱいきれいな写真をとることができました。この二ヶ月で留学生の皆さんと一緒にいろいろなところに行きました。マリノワールド海の中道に行ったり、ボーリングとカラオケにも行きました。サッカースタジアムややきゅうスタジアムにしあいを見に行きました。

ゴールデンウィークで、どんたくのパレードに行きましたが、雨が降っていたので中止になりました。その週、家族会といっしょに関さんの家で竹の子がりをしました。初めてやったのですごく楽しかったです。その土曜日と日曜日は熊本から来たブラジルの友達とアイランドシティー、福岡タワー、ふじえん公園、小倉城と門司港に行きました。この二ヶ月でいろんな写真を撮り、そこからいくつか写真を選び、大学のセミナーで展示をします。

今までいろんなイベントがありました。副知事に会いました。そして家族会と一緒に竹の子がりをして、温泉に行って、田植えもして、BBQ を食べて、いろんなゲームをしたり、スイカわりもしました。家族会の飯田さんの家にホームステイさせてもらいました。

おわりに、2001年から日本に来ていませんが、きれいで、せいけつで、安全で時間をまもるところにかんしんしつづけています。日本はとてもきれいな国で、福岡はとてもきれいな都市で、今まで知り合ったかたがたはみなとても良い人たちです。この一年を通して勉強とともに、残りの10ヶ月も色々な事をしていきたいと思っています。この素晴らしい機会を満喫することをとても楽しみにしています。

## メキシコ福岡県人会 谷川 フロレス ホアン カルロス

### 九州産業大学国際文学部

初めまして、谷川 フロレス ホアン カルロスです。メキシコ市からきました。日系四世です。家族は父、母と弟です。父はメキシコ武田株式会社で働いています。母は私立大学で働いています。弟は高校生です。福岡県に来る前に、僕はメキシコで文学と文芸創作を勉強しました。さらに、日本語も勉強しました。東京で生まれて柏に四年間住んでいて、子供のころから日本文化にとっても興味がありました。両親が毎晩日本の昔話を語ってくれて、日本料理を作って、時々日本語で喋っていたから、メキシコで日本を愛して育ちました。その理由で僕は神話と文学に興味を持ち作家と日本語の勉強をして、福岡県移住者指定留学生になりました。

福岡は曾祖父のふるさとです。東京より静かで、風景はカラフルな所です。寮から見える景色は自然です。人々は優しく、温かいです。どこでも新鮮な料理を食べられるし、どれもおいしいです。他の県費留学生と交流する中で一番驚いたことはやはり日本語です。皆は本当に日本語が上手です。しかも、皆の協力で毎晩、日本とアメリカ大陸の様々な料理を作れるので嬉しく感じています。日本語といえば、大学で様々な授業を受けています。宗教学や文学や民俗学などがあります。その授業の課題の中での漢字も文法も難しいですが、丁度僕が研究したいものの話が出てきます。さらに、教授と相談して研究課題を変更出来て良かったです。日本の教え方は、少なくとも僕がメキシコで通っていた大学と違いました。クラスでは、先生たちは時間をきちんと守るために、学生とあまり議論も交流もしません。しかし、出席の仕方が面白いです。通信について、クレジットカードを持っていないので、携帯電話の契約ができなくて、インターネットがないけれど、寮のWi-Fiで連絡は取れます。おかげで、周りにもっと気をつけるようになり、今まで気にとめていなかったような美しいものに感謝するようになりました。

僕はうつ病に苦しんでいます。今回は不安や意欲や興味などの低下で三週間ぐらい学校を休んでゼミナールのレジュメと発表をせずに、自分の部屋で引きこもりました。食欲も低下して、他の県費留学生と晩御飯以外にあまり食事をしませんでした。県費留学生の活動に協力して、家族会のイベントに参加しましたが、イベントが終わった後、また引きこもりました。国際交流センターからメールを受け取る前に、誰にも相談しませんでした。なぜなら、僕は誰もがっかりさせたくなかったからです。しかし、その行動で教授は僕のことを心配で国際交流

センターの堀さんに連絡して、学校を休んでいたことがわかりました。アクロスのところに行って、堀さんと相談して、自分の状況を説明して、また学校の先生とも同じく相談して、学校の活動に戻りました。今は前よりきわめて安心で、気分は次第に良くなっています。

今学期の後はさらに日本語を頑張ってセミナーとほかの授業のすべてのレジュメとレポートをきちんと書いて来学期12月の日本語能力試験を受けるつもりです。最後に、できるだけ、福岡で思う存分楽しむつもりです。

## トロント福岡県人会 合戸 祐

### 九州大学大学院経済学府

私の出身地であるトロントは「文化のモザイク」と呼ばれるほど多文化で、国際交流に興味のある私には、とても過ごしやすい環境です。移民が多いため、周りを見渡せば、食事や言葉、民族衣装など他国のものが多く、よく北米にいる実感が最初はあまり湧かない、と観光客や他国から来た友人に言われています。しかしながら、日本人はとても少なく、自分のルーツである日本の文化に触れる機会が少なく感じていた私は、今回自分の父の出身地である福岡へ留学するため、福岡県移住者子弟留学生制度に応募したのです。

私の両親が日本からカナダへ移住した第一号で、姉と私はカナダ生まれの二世にあたります。トロントにはいくつか日本語教育の土日学校があり、私は両親とのコミュニケーションと中学までの毎週土曜日の学習のおかげで日本語を忘れずに済んでいます。日本語学校以外での日本人コミュニティーはとにかく少なく、最近は留学生やワーキングホリデーの方々が増えていますが、短期で皆帰ってしまうため、私が対面できたのは数名しかいません。

福岡に来てから毎日が忙しく、大学、県会のイベントや観光などで、とても充実した毎日を送っています。フェイスブックポストにもっと詳しく書かれているが、タケノコ狩り、ホームステイ、ソフトバンクホークスの試合など、これらの楽しいイベントはここに来たから経験したことの一部分で、このほかに数え切れないほどのイベントを経験しました。福岡県人会の家族会の方々の温かさには今でも驚かされており、福岡県移住者子弟留学でなければ経験できないことが多くあるため、こういった制度を築いてくれた人々全員にとっても感謝しています。

福岡で出会った県費留学生はいい人ばかりで、いい友達関係を築けたことをとても嬉しく思っています。福岡に着いて、間も無く自分の誕生日を迎えるのは少し不安で、会ったばかりの人たちは一緒に過ごしてくれるだろうか、といった疑問がつのる中、周りから何をやりたいか聞かれるなど、凝ったサプライズまで用意してくれたことは、今までとちょっと違った大切な思い出になりました。

やはり、新しい環境で生活するのに困ったことはつきもので、漢字があまり読めないため、不便と感じたことや、いくら二世とはいえ、周りとはちょっと違う人ということで冷たい視線を感じたこともありました。こういったときこそ、もっと頑張ろうという気持ちが芽生え、優しくしてくれた人たちの気持ちが身にしみ、留学は本当に勉強になることが多いと感じています。

もう、留学が始まって二ヶ月以上がたち、日本で達成したい目標はたくさんできました。4地区家族会総会のプレゼンテーションで発表した通り、特に集中したい目標は日本語を上達させ、祖先を学び、日本の経済学や経営学をもっと詳しく学び、留学が終わりトロントへ帰った後も、ここで学んだことをなるべく多くの人に伝えたいと考えています。あと長いようで短い、残り10ヶ月弱でこの目標を達成できるよう頑張りたいです。

## ハワイ島福岡県人会 岩崎 ケリー カオリ

### 九州大学大学院地球社会統合科学府

はじめまして。わたしは岩崎ケリーカオリともうします。わたしはハワイに生まれそだちました。ハワイはたいへいようの中にあり、島は8島あります。8島の中で、わたしはハワイ島に住んでいます。オアフ島の、ハワイ大学マノア校でべんきょうしました。ハワイのぶんかとれきしはおもしろいです。まず、ネイティブハワイアンとハワイ出資にははちがひがあります。「カナカマオリ」とはネイティブハワイアン、「カマアイナ」というのはハワイ出身の人です。私はカマアイナです。

ハワイと福岡のせいかつは、ちょっとちがいます。4週間前、ハワイ大学をそつぎょうしました。

休みの日にハイキングとビーチでおよぐことが好きです。友だちとすごすことも好きです。

ハワイアンのゆうめいな食べ物は、カルアポークやポイやラウラウです。さらに、ほかのゆうめいな食べ物は、ポケと、スパムむすびと、しょうゆチキンと、ハウピアとマンゴといろいろな果物もあります。

ハワイ島のゆうめいなばしょは、いっぱいあります。たとえば、マウナケアと、ハプナビーチとかざんこくりつこうえんがあります。去年の夏休みに、カラウパナというところに行きました。ようがんはさわれないでも、ほんとうに近くに見ることができました。

3月23日、私は福岡に来ました。ようやくけんぴ留学せいに会いました。

みなさんはフレンドリーで温かく迎えてくれました。毎夜、晩ごはんをいっしょに作って、一日の中でお気に入りの時間です。

これまでに、福岡でたくさんよていがありました。アビスパのサッカーゲームでレベル5スタジアムに行きました。アビスパはまけたけど、本当に楽しかったです。

私たちは家族会そうかいの BBQ にも行きました。いっぱい食べ物があり、さしみややきやさいやたくさん肉がありました。おなかがいっぱいになりました！ BBQ でフラフープとビンゴゲームをしてあそびました。そして、私ははじめてすいかわりをしました。

ハワイにはほたるがいないので、見たことがなかったです。そして、福岡でほたるを見に行きました！ほたるはきれいで、川のちかくでひかっています。ハワイと福岡のせいかつはちょっとちがいます。四週間前に、ハワイ大学をそつ



ぎょうしました。ハワイ大学でのにちじょうは、おきて朝ご飯を食べ、大学にスケートボードで通いました。じゅぎょうは、午前8時半から午後1時まででした。午後1時半から4時半までアルバイトをしました。つぎに、クラブさくどうがあり、図書館で友だちと勉強しました。さいごに、まよなかごろうちに帰ります。

日本についてから、家ぞくとずっとれんらくをしています。メールとフェイスブックをしました。家族は4人います。母の名前はパツイと父の名前はアランとおとうの名前はジャイルスです。ジャイルスは16さいです。

私のそせんは、何年も前に日本からいじゅうしました。私はハワイに住む日系5世なので、日本語からはなれてしまいました。福岡に留学生として来て、日本語を学び、福岡のルーツを見つけたいです。

Kempi 留学生を会ったことは、一番うれしいとかんじたことのひとつです。さいしょは私が少しおくれてきたので、ふあんでしたが、今は、みなさんといい友だちになれるとしんじています。今年の kempi 留学生はブラジルとメキシコとボリビアとペルーとカナダとハワイから来ました。

学期の真ん中なので、日本語のクラスを見つけるのが大変でした。

福岡のみなさんは、ほんとに親切です。ひとびとは、おたがいがとおりするのを待って、車のクラクションをならしません。

私のもくひょうは、日本語をかいわレベルにすることです。英語のことばを使わないで日本語で話したいです。毎日のかんたんなかいわをしたいです。

そして、べつのもくひょうは、一時間以内で Facebook の投稿をかくことです。私がじめてとうこうをしたとき、4時間ぐらいかかり、さらにへんしゅうのたすけがひつようでした。

福岡を楽しんで、日本語の勉強と家族の歴史を学び続けます。